



進取

令和3年7月16日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数440名

豊かな体験が，豊かな心を育む！！

校長 深川 光久

保護者の皆様の御理解とご協力のおかげで，なんとか1学期を終えられそうです。一人一人の子供たちの成長が感じられる1学期になったのでしょうか。それぞれにきっと伸びていると思います。学校では，国語や算数の教科の学習だけでなく，田植え体験や友達と協力する毎日の掃除など様々な体験活動等を行っています。いよいよ夏休みに入りますが，夏休みは学校ではできない様々な豊かな体験ができる時期でもあります。新型コロナウイルスの影響もありますが，長期の夏休みの中で，いい体験活動をご家族でされることをお勧めします。

右の図は，文部科学省の「子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実」という文書の中にあるグラフです。インターネットですぐに見ることができます。3本の帯グラフがありますが，一番上のグラフが子供の頃の自然体験が多かった人、一番下が少なかった人です。子供の頃の自然体験の多い人が道徳観や正義感が高くなることが分かります。

2つ目のグラフは，自然体験と自己肯定感との関係です。自己肯定感とは，ありのままの自分を肯定的、好意的に受け止めることができる感覚です。人が前向きに生きていくためには大切な感覚です。子供の頃に自然体験が多かった人ほど自己肯定感が，高いことが分かります。

生活体験やお手伝いでも，道徳観・正義感、自己肯定感との関係において同じような傾向が見られます。

家のお手伝いをする，阿久根大島に行く，畑や田んぼの手伝いをする，家族みんなで協力して家の掃除や片付けをする，涼しい日に短い時間でも

いいから夜空の星や月をじっと眺める，涼しい朝に親子で散歩をする，親子でチリチリと光る線香花火を見つめるなど，できることはさまざまです。遠くに行かなくても，お金を使わなくても家族としてできる豊かな体験はたくさんあります。中学校になると，部活動の練習もあり家族の時間を合わせることで小学校の時よりも少し難しくなります。小学生の時にいろいろな体験を家族と一緒に楽しむ気持ちでやってみてください。きっと豊かな心をもった阿久根の子供たちがたくさん育っていくことでしょう。

